

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価

－ 平成21年度の実績 －

白鷹町教育委員会

教育委員会制度は、市町村長から独立した機関であり、合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育事務を執行するものです。

平成20年4月に、教育委員会の組織や運営に関し、基本的事項を定めている地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、毎年各自治体の教育委員会は、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果を議会に報告し及び公表することとされました。

このような状況を踏まえ、白鷹町教育委員会では、本町における教育行政事務の点検・評価を以下のとおり実施することといたしました。

1. 目 的

本町教育行政事務の実施状況について、その検証を行うことにより、課題や今後の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図っていくため、教育委員会の事務事業の点検・評価を行う。

また、その結果を町議会に報告し、及び公表することにより、町民への説明責任を果たす。

2. 方 法

点検・評価は、白鷹町教育行政一般方針を踏まえ、点検・評価は毎年度1回実施するものとし、前年度の主要な取り組み・重点的な取り組みの実施状況を点検するとともに、課題や今後の取り組み方を示すものとする。

今回は、平成21年度に行った主要な事務事業についてそれぞれ点検・評価を行った。

参 考

〈地方教育行政の組織及び運営に関する法律〉

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○教育委員会開催実績

委員会開催日	議案
4月1日	議第15号 白鷹町教育委員会教育長の任命について
4月28日	議第16号 白鷹町障害児就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について
	議第17号 地区公民館分館長、書記の任命について
	議第18号 白鷹町文化財保護審議会委員の任命について
	議第19号 白鷹町図書館協議会委員の任命について
	議第20号 白鷹町障がい児就学指導委員会委員の委嘱について
	議第21号 白鷹町社会教育委員の委嘱について
	議第22号 公民館運営審議会委員の委嘱について
	議第23号 地区公民館運営委員会委員の委嘱について
	議第24号 白鷹町スポーツ振興基金運営委員会委員の委嘱について
	議第25号 白鷹町競技力向上対策委員会委員の委嘱について
5月1日	専第1号 地区公民館分館書記の専決処分の承認について
	議第26号 地区公民館分館書記の専決処分の承認について
	議第27号 白鷹町立小・中学校学校評議員の委嘱について
	議第28号 白鷹町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
	議第29号 白鷹町青少年育成推進員の委嘱について
8月3日	専第2号 白鷹町教育相談員の委嘱の専決処分について
	議第30号 白鷹町教育相談員の委嘱の専決処分の承認について
	議第31号 白鷹町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	議第32号 平成22年度使用教科用図書の採択について
	議第33号 白鷹町スクールバスの購入について
8月27日	議第34号 白鷹町スクールバス条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議第35号 白鷹町スクールバス条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
10月1日	議第36号 白鷹町教育委員会委員長職務代理者の指定について
11月24日	議第37号 財産取得について
12月11日	議第38号 白鷹町中央公民館・大ホール施設整備にかかる検討報告書について
2月19日	議第1号 平成22年度白鷹町教育行政一般方針について
	議第2号 平成22年度白鷹町一般会計予算のうち教育費に関する予算の意見聴取について
	議第3号 白鷹町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	議第4号 白鷹町公立学校処務規程の一部を改正する訓令の制定について
3月10日	議第5号 平成22年度教職員人事異動の内申について
	議第6号 平成22年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動方針について
	議第7号 白鷹町立小学校通学区域外就学の許可について
3月25日	議第8号 地区公民館長の任命について
	議第9号 地区公民館職員の任命について
	議第10号 白鷹町立図書館長の任命について
	議第11号 白鷹町立小・中学校、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	議第12号 白鷹町教育相談員の委嘱について
	議第13号 白鷹町体育指導員の委嘱について
	議第14号 地区公民館分館施設整備費補助金交付規程を改正する訓令の制定について
	議第15号 平成22年度白鷹町教育委員会事務局職員人事異動の内申について

※その他、学校訪問、各学校行事、研修会等の参加があります。

教育委員会事業点検評価調書

事業名	教育相談事業		
事業費(千円)	705	事業NO	10.02.01-015
事業目的		事業概要	
教育相談員と家庭、学校が連携を図りながら不登校児童生徒の解消を図る。個々の児童生徒の状況に合わせた適切な相談・指導を行い、集団生活等に対応できるようにする。		教育相談員2名を委嘱し、関係機関と連携しながら学習指導、相談活動を行っている。毎月2回、教育相談員、不登校対策担当教諭による定例会を開催している。不登校児童生徒については、毎週木曜日に荒砥地区公民館で八乙女教室を開催している。	
実績・成果			
児童生徒の個別の状況に合わせた懇切丁寧な指導を行い、徐々に生活学習状況に変化が見られた。教育相談員が家庭、学校との相談や会議を行うことで安心感が生まれている。			
目標指標等		指標結果	
不登校児童生徒数 0		不登校児童生徒数 7	
評価	摘要(課題等)		
A	年により人数にバラツキがある		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	英語指導助手(ALT)設置事業		
事業費(千円)	4,883	事業NO	10.01.02-021
事業目的		事業概要	
中学生が直接、外国青年と接し授業を受けることによって、英語に興味や関心を深められる。発音やイントネーション等はもちろんであるが、ALT自国の文化や生活等も知ることができ、視野を広める一つとなっている。		東西中学校に英語指導助手を派遣し、英語教育の充実を図る。また、学習指導要領改訂に伴う小学校での英語教育にも対応する。	
実績・成果			
民間事業者に英語指導助手業務を委託し、英語教育の充実を図った。 小学校での英語教育も順調に進んでいる。 民間委託(ALT)により、従来のJETによる事務手数を解消している。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調査

事業名	荒砥高校活性化事業		
事業費(千円)	400	事業NO	10.01.02-030
事業目的		事業概要	
荒砥高校の特色ある学校づくりを支援し、同校の発展存続と青少年の人材育成を図る		荒砥高校が魅力づくりのために行う職場体験学習、運動部強化、かわら版発行等に補助金を支出し支援する。また、荒砥高校を考える会に補助金を支出し広報誌発行、教職員との情報交換等を行い地域の高校づくりを支援する。	
実績・成果			
荒砥高校は、職場体験学習、運動部強化、かわら版発行等により高校の魅力づくりの図った。荒砥高校を考える会は、高校再編計画説明会の参加や要望活動、広報誌発行や教職員との情報交換等により地域を巻き込んだ運動を展開した。			
目標指標等		指標結果	
H22入学者数 80名		H22入学者数 66名	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	荒砥高校新入生応援事業		
事業費(千円)	3,970	事業NO	10.01.02-031
事業目的		事業概要	
荒砥高等学校の新入生を確保することにより同校の充実・存続を図り、ひいては町の教育、産業、経済の発展と本町のまちづくり推進を図る		荒砥高校の分校化・廃校を避け存続させるには入学者を確保する必要があるため、荒砥高校入学者に対し入学費用の一部として一人6万円を助成する。	
実績・成果			
債務負担行為により入試前から各中学校に制度を周知し、入学者を確保にあたった。荒砥高校入学者に対し入学費用に使える新歓応援券を一人6万円分支給し、家計を援助するとともに、地域経済の振興も図った。			
目標指標等		指標結果	
H21入学者数 80名		H21入学者数 62名	
評価	摘要(課題等)		
A	荒砥高校存続のためではあるが、他校入学生との不公平感がある		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	耐震補強事業（明許繰越）		
事業費（千円）	53,955	事業NO	10.02.01-020
事業目的		事業概要	
耐震力が低いとされた建物について補強工事を行い、児童の安全安心した教育環境の整備を図る。		対象となった蚕桑小屋内運動場と東根小屋内運動場について耐震補強工事を行った。	
実績・成果			
耐震補強と一部リニューアルも含めて整備を行い、教育面はもとより町指定の避難所として安全性の確保が図られた。			
目標指標等		指標結果	
小学校耐震整備率 100%		小学校耐震整備率 100%	
評価	摘要（課題等）		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業名	日本語指導員設置事業		
事業費（千円）	522	事業NO	10.02.01-071
事業目的		事業概要	
国際結婚による外国人児童が学校生活に対応できるように支援する。		日本語が話せない外国人児童が町内学校に入学・転入した場合、学校生活に対応でき他児童とコミュニケーションが図られるよう1年間に限り日本語指導員を設置し支援する。（在籍から6ヶ月まで週5日、その後4ヶ月は週3日、その後2ヶ月は週2日）	
実績・成果			
荒砥小学校に1名の中国からの児童が在籍したため、町内から指導員をお願いして支援した。日本語にも慣れ順調に学校生活を送っている。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要（課題等）		
A	急な転入等があった場合に備えた予算対応が必要		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	芸術鑑賞教室		
事業費(千円)	844	事業NO	10.02.01-090
事業目的		事業概要	
芸術を愛好する心情と感性を育て豊かな情操を養う		山形交響楽団に演奏を依頼し町内の小学校が一同に介し芸術教室を開催し情操教育を行う。一人180円の個人負担をもらっている。	
実績・成果			
県内唯一の交響楽団である山形交響楽団の演奏を目の前で聴き楽しく音楽に触れ合った。演劇教室と音楽教室を毎年交互に行い、感性豊かな子どもたちの育成をしている。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業名	学習指導補助員設置事業		
事業費(千円)	2,070	事業NO	10.02.01-095
事業目的		事業概要	
適切な学級経営を行うため多人数等の学級に学習指導補助員を配置する。		35名以上のクラスや不応児のいるクラスなどを主に配置し、個別指導やTTの対応にあたる。	
実績・成果			
21年度は、蚕桑小(火・木)と鮎貝小(月・水・金)の掛け持ちで1名、荒砥小学校にはふるさと雇用事業によりケイエスしらたかに委託し1名を確保して実施した。学校ごと個別に適切な学習指導ができた。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
B	教職員の人事配置を考慮する必要がある 賃金等の待遇改善		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	スクールバス導入事業(債務負担)		
事業費(千円)	3,200	事業NO	10.02.01-104
事業目的		事業概要	
児童の安全な通学手段の確保		中山地区から鷹山小学校に通う児童のため15人乗りの 通勤バスを購入	
実績・成果			
中山地内でも小回りのきく車輛を購入し、通学の安全性を確保した。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業名	スクールバス運行事業		
事業費(千円)	1,806	事業NO	10.02.01-105
事業目的		事業概要	
児童の安全な通学手段の確保		中山地区から鷹山小学校に通う児童のため、また、11月からはバス路線から外れる杉沢、海生地区の通学のためスクールバス通学を行う。	
実績・成果			
中山地区から鷹山小学校に通う児童のための通勤バスの運行を町内タクシー会社に委託。また、11月からはバス路線から外れる杉沢、海生地区の通学にタクシーを利用してスクールバス通学を実施、通学の安全性を確保した。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
B	委託料等について経費削減を図る必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	地域活性化・生活対策事業(明許繰越)〈小学校施設改修等〉		
事業費(千円)	22,361	事業NO	10.02.01-106
事業目的		事業概要	
各学校の施設・設備の改修を行い、学習環境の整備を行う		東根小学校給水設備のリフレッシュ工事、鮎貝小学校と東根小学校のプール塗装工事、鮎貝小学校カーペット床改修工事などを実施	
実績・成果			
国の補正予算を活用しなかなか実施できなかった施設整備ができて学習環境の整備ができた。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業名	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業(小学校ICT環境整備事業)		
事業費(千円)	50,841	事業NO	10.02.01-107
事業目的		事業概要	
町内全校の教育用・校務用パソコン、校内LAN、電子黒板などを整備し、インターネット利用の活用等により分かりやすい授業の実施、情報教育の推進を図っていく。		町内全校の教育用・校務用パソコン、校内LAN、電子黒板などを整備し、インターネット利用の活用等により分かりやすい授業の実施、情報教育の推進を図っていく。	
実績・成果			
町内全校の教育用パソコン、校内LAN、電子黒板などを整備し、インターネットが活用できる環境整備により、分かりやすい授業の実施、情報教育の推進を図る。校務用パソコンの整備により校務改善を図る。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	情報機器を活用した授業の実施		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	理科教育等設備整備事業		
事業費(千円)	1,923	事業NO	10.02.02-015
事業目的		事業概要	
学校教育における理科教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、理科及び算数・数学設備の整備する。		理科教育振興法に基づき、理科・算数の備品等設備を整備する。 新学習指導要領では、授業時数、内容の大幅増加に対応し、観察・実験器具等の拡充を図る。	
実績・成果			
国の補助事業等を活用し、各校とも新学習指導要領に対応する、観察・実験器具等の拡充を図った。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	備品・設備等の有効活用		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業名	要保護及び準要保護児童援助事業		
事業費(千円)	1,686	事業NO	10.02.02-015
事業目的		事業概要	
生活保護に準ずる経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な援助を行う。		生活保護に準ずる経済的理由の就学困難児童の保護者に対して基準による学用品等の援助を行う。	
実績・成果			
準要保護児童数24名に対し学用品等の援助費を支給し経済的援助をしている。要保護者4名については医療費・修学旅行等について援助している。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	生活指導員設置事業		
事業費(千円)	4,120	事業NO	10.03.01-022
事業目的		事業概要	
不登校、不適応生徒、別室登校生徒に個別指導等による対応を図り支援する。		普通教室に入れないなど個別支援を要する生徒に適切な学習体制をとり対応する。教員有資格者を東西中学校に1名ずつ配置する。	
実績・成果			
別室登校生徒の指導等のため東西中学校に1名ずつ配置し、よりきめ細かな指導ができた。スクールカウンセラー、教育相談員とも連携し、指導できた。			
目標指標等		指標結果	
不適応生徒数 0		不適応生徒数 3	
評価	摘要(課題等)		
A	教職員の人事配置との関係がある		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	芸術鑑賞教室		
事業費(千円)	440	事業NO	10.03.01-056
事業目的		事業概要	
芸術を愛好する心情と感性を育て豊かな情操を養う		山形交響楽団に演奏を依頼し町内の中学校が一同に介し芸術教室を開催し情操教育を行う。一人180円の個人負担をもらっている。	
実績・成果			
県内唯一の交響楽団である山形交響楽団の演奏を目の前で聴き楽しく音楽に触れ合った。演劇教室と音楽教室を毎年交互に行い、感性豊かな子どもたちの育成をしている。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	日本語指導員設置事業		
事業費(千円)	354	事業NO	10.03.01-058
事業目的		事業概要	
国際結婚による外国人生徒が学校生活に対応できるように支援する。		日本語が話せない外国人生徒が町内学校に入学・転入した場合、学校生活に対応でき他生徒とコミュニケーションが図られるよう1年間に限り日本語指導員を設置し支援する。(在籍から6ヶ月まで週5日、その後4ヶ月は週3日、その後2ヶ月は週2日)	
実績・成果			
東中学校に1名の中国からの生徒が在籍したため、町内から指導員をお願いして支援した。順調に学校生活を送り、卒業し荒砥高校に入学した。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必須

事業名	スクールバス導入事業		
事業費(千円)	38,550	事業NO	10.03.01-075
事業目的		事業概要	
生徒の安全な通学手段の確保		新たな路線を含め遠距離生徒の通学の手段のため中型バス3台を購入	
実績・成果			
45人乗りの中型バス3台を購入し、通学の安全性・快適性を確保した。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必須

教育委員会事業点検評価調書

事業名	スクールバス運行事業		
事業費(千円)	12,455	事業NO	10.03.01-076
事業目的		事業概要	
生徒の安全な通学手段の確保		11月から全町的にスクールバスを運行。川西地区に新規に3路線を導入(小学校混乗)。東根地区は、山交バスで対応。	
実績・成果			
荒砥中山線と荒砥大瀬線は4月から、11月からは新たに川西地区の3路線を追加し運行した。東根地区は山交バスを利用。いずれも保護者負担はなし。通学時の安全性を確保した。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
B	委託料等について経費削減を図る必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	地域活性化・生活対策事業(明許繰越)〈中学校施設改修等〉		
事業費(千円)	6,673	事業NO	10.03.01-080
事業目的		事業概要	
各学校の施設・設備の改修を行い、学習環境の整備を行う		東中特別室改修工事、西中学校屋根塗装工事、西中柔道畳購入等により教育環境の整備を実施。	
実績・成果			
国の補正予算を活用し、喫緊の施設整備を行い学習環境の整備ができた。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業(中学校ICT環境整備事業)		
事業費(千円)	26,753	事業NO	10.03.01-081
事業目的		事業概要	
町内全校の教育用・校務用パソコン、校内LAN、電子黒板などを整備し、インターネット利用の活用等により分かりやすい授業の実施、情報教育の推進を図っていく。		町内全校の教育用・校務用パソコン、校内LAN、電子黒板などを整備し、インターネットの活用等により分かりやすい授業の実施、情報教育の推進を図っていく。	
実績・成果			
町内全校の教育用パソコン、校内LAN、電子黒板などを整備し、インターネットが活用できる環境整備により、分かりやすい授業の実施、情報教育の推進を図る。校務用パソコンの整備により校務改善を図る。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	情報機器を活用した授業の実施		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必須

事業名	理科教育等設備整備事業		
事業費(千円)	1,163	事業NO	10.03.02-015
事業目的		事業概要	
学校教育における理科教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、理科及び算数・数学設備の整備する。		理科教育振興法に基づき、理科・算数の備品等設備を整備する。 新学習指導要領では、授業時数、内容の大幅増加に対応し、観察・実験器具等の拡充を図る。	
実績・成果			
国の補助事業等を活用し、各校とも新学習指導要領に対応する、観察・実験器具等の拡充を図った。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	備品・設備等の有効活用		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必須

教育委員会事業点検評価調書

事業名	要保護及び準要保護生徒援助事業		
事業費(千円)	1,686	事業NO	10.03.02-015
事業目的		事業概要	
生活保護に準ずる経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行う。		生活保護に準ずる経済的理由の就学困難生徒の保護者に対して基準による学用品等の援助を行う。	
実績・成果			
準要保護生徒数18名に対し学用品等の援助費を支給し経済的援助をしている。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	地区公民館事業		
事業費(千円)	63,683	事業NO	010
事業目的		事業概要	
地域住民による主体的な公民館運営を継続し、学びの拠点・地域づくりの拠点として事業を行う。		公民館まつり、新春交流会、研究集会の三大事業の開催 ①学びの機会の提供:家庭教育、団塊の世代、高齢者等の生涯学習支援、②関わりあいの推進:住みよい地域づくりのための講座、女性のネットワーク化の再構築③地域の子どもの健全育成④集いの場としての公民館⑤事業内容・成果を評価・検証し、生涯学習の振興	
実績・成果			
<p>・新型インフルエンザの流行などにより、中止や変更を余儀なくされた事業などもあり、各館における事業実施に関しては、例年になく苦勞の多い1年であったと思われる。しかしながら、各種事業が計画的に実施され、学びや集い、地域づくりの拠点としての活動が各地区公民館において行われた。</p> <p>・各地区における公民館運営委員会や館長・代理・主事会等で事業内容・成果を検証しながら事業を推進した。</p>			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
B	成人男性講座の開催 ・地域住民による主体的な公民館運営を継続し、学びや地域づくりの拠点として事業を行う。		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

事業名	地区公民館分館整備事業		
事業費(千円)	306	事業NO	015
事業目的		事業概要	
地域住民が連帯感を持った、地域づくり・人づくりの拠点をつくる。		・各種講座の開催を通じて住民の住みやすい環境づくりと連帯感の醸成を図る ・主体的な活動促進のための情報提供 ・施設整備における増改築費や備品購入費の助成支援	
実績・成果			
<p>・住民の拠点となる公民館の増改築や備品購入費の助成制度について、年度当初に周知に努めた。</p> <p>・分館施設整備事業に対しては、2件の申請があり、それぞれに補助を行なった。</p> <p>高岡分館リニューアル事業(補助額:112千円屋根塗装、防災カーテン交換、クロス修繕)、浅立分館屋根改修事業(補助額207千円屋根修繕、塗装)</p>			
		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
C	少子・高齢化による分館機能の維持と施設の老朽化への対応 ・分館施設整備費補助金の交付規程の見直しを実施し、より使いやすい制度への改善を行なっていく。具体的には次のとおり。新築:事業費30%以内、限度額300万円増・改築、修繕:10万円以上事業の30%以内、限度額30万円備品購入:10万円以上事業の20%以内、限度額10万円		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調査

事業名	生涯学習推進事業(白鷹学講座開催事業)		
事業費(千円)	887	事業NO	062
事業目的		事業概要	
自ら学び考え問題を解決する力を養う為の学ぶ機会を充実する。		①白鷹学講座を充実する ②インターネットを利用した学びを推進する。 ③職業能力の向上につながる学習支援の充実 ④小グループ化を推進する ⑤生活の質の向上を目指すための学びを推進 ⑥生涯学習推進基金の活用を推進する	
実績・成果			
<p>・白鷹学講座:①田勢康弘講演会4/26 ②川島隆太講演会5/23 ③映画「里山っ子たち」上映会8/23 ④「民俗信仰草木塔への願い〜草木塔・路傍の石仏・石塔めぐり〜」9/5 ⑤おすぎのシネマトーク&映画上映会10/24 ⑥山崎ハコアコースティックライブ11/15 ②と⑥において実施した「満足度」「理解度」調査の結果は次のとおり。(※他の事業については実施せず)②川島隆太講演会*回収率83.75%*満足度84.33%*理解度94.03% ③おすぎのシネマトーク*回収率49.59%*満足度(講演)74.67%(映画)84.33%*理解度(講演)85.33%(映画)86.33% ・生涯学習推進基金は1件(フィリピンでの農民交流)の活用があった。</p>			
目標指標等		指標結果	
白鷹学講座開催年6回以上		年6講座実施	
評価	摘要(課題等)		
B	<p>新規講演者等の開拓 ・白鷹学講座は、他課との連携を図りながら、講演等のレギュラー企画とフィールドワーク等を基調とする「町を知る」講座の組み合わせにより、町民の生涯学習振興に努める。 ・生涯学習推進基金の活用を促進するため、規程の見直しを行うほか、PRを促進する。</p>		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

事業名	学習企画の創出		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
地域活性化を図るため、各世代に応じた学習機会の創出やネットワーク化をはかる。		①団塊の世代 ・高齢化する地域社会を活性化していくために、生きがいつくりとともに能力開発関係をも含めた多様な学習ニーズを把握しながら、新たなネットワークの構築を支援 ②女性のネットワーク ・町婦人会(構成2団体)、町女性の会(構成6団体)、若妻会の団体育成(町女性の会20周年記念事業の開催) ・今後のあるべき姿を模索し、ネットワーク化の構築(婦人団体・若妻団体の情報交換会の開催)	
実績・成果			
<p>・地域活性化を図るため、各地区公民館等において、少年、成人、壮年、高齢者、婦人など各世代に応じた学習機会の提供等を行った。 ・町婦人会では、各地区の婦人団体に呼びかけ情報交換会を実施し、組織及び事業の支援と育成に努めた。 ・町女性の会は災害時の対応を広く啓蒙するため炊き出し研修を開催した。</p>			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
B	<p>町婦人会への加入 促進・各世代に応じた学習機会の創出を行い、婦人会組織の強化と各組織の連携を促進する。</p>		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	公共・協働の学習		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
自己を高め、互いに支えあう社会を形成するため、「公共」「協働」の観点に向けた生涯学習の展開を図る。		①生涯学習における「公共」「協働」の視点を重視した学習機会の設定 ・白鷹学講座においてテーマとして取り上げ検討 ②住みよい地域づくりのために、今かかえる地域の課題を共有化しながら解決していくシステムの構築(地区公民館研究集会において話題提供と話し合い)	
実績・成果			
・町民による自主的な企画運営により実施されている白鷹学講座については、協働の視点に基づいた学習機会の設定の実践例であるといえるが、公共「協働」そのものをテーマとして取り上げた講座は実施できなかった。 ・各地区公民館における研究集会等で分館の実践発表や研修が行なわれており、住みよい地域づくりのための勉強会が行なわれている。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
C	・白鷹学講座における「協働」のテーマ設定は難しいため、別の機会を設ける必要がある。なお、H22において開催する社会教育振興大会において学習の機会を検討していく。 ・教育委員会だけでなく、他課との連携も深めながら地域課題解決のための取り組みを行なっていく。		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

事業名	中央公民館事業		
事業費(千円)	15,189	事業NO	010
事業目的		事業概要	
グループ活動の拠点としての快適な場の提供、団体育成を行う。 また、地区公民館活動の情報収集・調整を行い、一体的な活動が展開されるよう支援する。		①町民の学習ニーズを的確に把握し、自主的な小グループ活動を育成、支援する ②利用団体のネットワーク化推進と情報交換 ③地区間交流の促進による学びの質の向上を図る ④地区公民館職員研修等を開催し、的確な運営実現を支援する	
実績・成果			
・今年度の大きな実績としては、天井部の故障発生、使用停止とした大ホールの事件に伴い、今後の中央公民館全体の施設整備の検討を行なった。結果、大ホール棟は解体、公民館棟はリニューアル整備を実施していくこととなった。 ・中央公民館事業としては新規事業として「リアムとティータイム」(英語指導助手・リアム氏とふれあいの場づくり)、「春休み・ちゅーおー交民館」を実施した。 ・地区公民館職員の研修については、2回の館長・館長代理・主事研修会のほか、置賜社会教育振興会が主催する研修会への参加呼びかけ、また、職員(主事)交替に伴う研修会を実施した。			
目標指標等		指標結果	
小グループ活動の育成1団体			
評価	摘要(課題等)		
A	施設・設備の老朽化 ・大ホール棟解体は年度当初より取り組むこととなり、合わせて公民館棟についても生涯学習の活動拠点とすべきリニューアル整備についても検討を進める。 ・今年度新規に取り組んだ事業については、レギュラー化を目指した検討を進める。 ・研修を通しながら、各地区との連携を図り、より良い生涯学習振興に努めていく。		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	子育て(乳幼児期)・子育て・孫育て		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
芸術・文化体験等をとおして豊かな心を育む。		○講演会等への積極的な参加を促す ・関心の高い内容の講座の開催 ・町報・館報以外の周知方法の開発(新聞・ラジオ等) ・より多くの情報の提供(町ホームページの活用) ・「ほんわか通信」の発行 ○家庭教育事業への支援 ・学校での子育て講座 ・子育て講座(健康福祉課と連携)	
実績・成果			
・白鷹学講座では、講演会だけでなく、映画上映会やコンサートなどの芸術鑑賞を通して、性別、世代に関わらず、同じ時間を共有することにより、関わり合いが生まれたと考える。 ・家庭教育支援事業では、町に伝わる郷土料理教室を開催した。母子や家族での参加もあり、参加者の交流も生まれた。			
目標指標等		指標結果	
講演会の開催小2校・中1校で開催		白鷹学講座6回開催	
評価	摘要(課題等)		
B	参加しやすい体制整備 ・新規講師の開拓を行い、関心の高い講座を開催する。 ・家庭教育支援事業として郷土料理教室を継続し、伝承に努め親どおしの交流につなげる。		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

事業名	学校・家庭・地域の相互連携		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
学校・家庭・地域が相互に連携し、町民全体の社会力の向上を図る。		①世代間交流を促進し相互理解を深め、新しい生活文化の創造と伝承を推進する(放課後子ども教室、各地区公民館主催の子どもいきいき体験塾の開催) ②親子のふれあいを大切に、人間性豊かな心を養う(「家庭の日」の見直し、町全体への普及啓発推進) ③地域と学校が連携し、子ども達の安全を守る(安全見守り隊の活動支援) ④男と女とが信頼しあい、尊重しあう社会を目指す ⑤「公共」「協働」の精神に基づき、ボランティア活動を促進し、支えあう社会を目指す(ボランティア団体育成の取組み)	
実績・成果			
・町青少年育成町民会議で、小・中・高校生による「子ども環境会議」が開催され、地域、学校等との相互連携のもと事業が実施された。また、各地区に安全見守り隊がそれぞれ組織され活動を行っている。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
B	ボランティア団体の育成 ・町の横断的組織である町青少年育成推進会議や各地区公民館と連携し、町民全体の社会力の育成に努める。		

※評価A:現状維持、あるいは拡充を図るB:若干の改善必要C:大幅な改善必要D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	青少年の学校外活動の充実		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
学校外活動の充実をはかり、健全な青少年の育成を行なう。		①成長期の子どもの社会力の育成 ・地域の中にくらしているという自覚、自らが住みよい地域にしようという意欲、コミュニケーション・好奇心を養う講座の開催 ②体験活動の充実 ・職業能力の向上を図るため、勤労観・職業観の育成を図る(学校教育との連携による職場体験の実施) ・ボランティアサークルの育成くあさがお>	
実績・成果			
・各地区公民館における「子どもいきいき体験塾」及び蚕桑小学校、鷹山小学校の「放課後子ども教室」などの事業を通して、地域の中で子どもの健全育成活動が行われた。 ・荒砥高校生を中心としたボランティアサークル「あさがお」では、福祉施設訪問や街頭募金、各種イベントなどへのボランティアを通じ、体験活動の充実と職業観等の育成が図られた。			
目標指標等		指標結果	
あさがおの会員10人以上確保		あさがお会員11人	
評価	摘要(課題等)		
B	職場体験受入先の協力依頼 ボランティアサークル会員の募集 各地区公民館の「いきいき体験塾」の継続と蚕桑小学校、鷹山小学校で「放課後子ども教室」を継続開催する。また、ボランティアサークル会員の募集を更に促進する。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業名	地域の教育力の向上		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
子どもの[生きる力・社会力]を育むために、学校・家庭・地域が相互に連携を図る。		・青少年育成推進員活動の活発化:地区公民館や学校その他の団体との連絡提携を強化する体制の確立 ・青少年育成町民会議の活発化:関係団体等の連携による青少年健全育成事業の実施(総会、青少年団体の活動発表、子ども会議の開催、連絡会議の開催):各地域の組織「見守り隊」と連携を深める ・放課後子ども教室の開設:H20に引き続き、蚕桑小学校、鷹山小学校で実施各年間約30日 ・学校支援地域本部事業の取り組み推進:2次募集応募:西中学校	
実績・成果			
・町青少年育成町民会議では、小・中・高生の代表による「子ども環境会議」を開催し、地域と学校等と連携を図り事業が進められた。研修会では少年の主張大会主張者の発表など実施した。 ・放課後子ども教室を蚕桑小学校、鷹山小学校で開催し、スポーツや文化等様々な体験活動を地域の方々との交流を通じて実施した。 ・新規に実施した学校支援地域本部事業については、年度途中(9月)からの実施となったため、予定した事業全てを実施することはできなかったが、学校行事等において地域の方々の協力が得られ、取り組み初年度としては目的とする成果を得られた。			
目標指標等		指標結果	
放課後子ども教室2校で実施		2校で実施	
評価	摘要(課題等)		
B	放課後子ども教室と学童クラブ、児童クラブとの連携。青少年育成推進員、青少年育成町民会議の活動を一層推進する。放課後子ども教室については、新規に東根での実施を計画したが、学童クラブの開設があることから実施を見送った。一方では、子どもの居場所づくりに対するニーズがあるため、公民館事業と連携しながら対応していきたい。2年目となる学校支援地域本部事業については、より大きな成果が残せるよう計画的な事業実施に取り組む。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

教育委員会事業点検評価調書

事業名	芸術文化振興(芸術祭)事業費		
事業費(千円)	550	事業NO	
事業目的		事業概要	
生涯を通じて心豊かな人生をおくるために町民の芸術文化の振興を図る。		町芸術文化協会との連携により芸術祭を行う。芸時湯の発表を通して芸術文化の振興と生きがい作りの創出を図る。	
実績・成果			
町民の芸術文化の振興を促進しながら成果の共有と活動の助長と芸術文化に対する意識の高揚を図る一人一人が輝く町づくりの推進			
目標指標等		指標結果	
人口の10%		人口の13%	
評価	摘要(課題等)		
A	ホールの会場が狭いので一度に多くの方が干渉できない。舞台が狭く低いので後ろから鑑賞した人は全身をみることができない。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必須

事業名	芸術文化鑑賞鑑賞(山響演奏会)事業		
事業費(千円)	800	事業NO	
事業目的		事業概要	
交響曲を持つ町として音楽を通して芸術文化の振興を図る。		文化による潤いのある町づくりを推進するために山形交響楽団の演奏による、ハーモニーコンサートを開催する。	
実績・成果			
文化による潤いのある町づくりを推進を図るために実施するものである。住民が自主的に企画から運営まで実施			
目標指標等		指標結果	
入場者が人口の1割		125%	
評価	摘要(課題等)		
A	ボランティアの高齢化。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必須

教育委員会事業点検評価調書

事業名	伝統芸能保存伝承事業		
事業費(千円)	180	事業NO	
事業目的		事業概要	
町の無形文化財である高玉芝居を地区民と共に継承し保存する。		第18回国民文化祭を受けて「高玉芝居」の保存と継承と、多くの町民の鑑賞の機会を設けるための定期公演を開催する。	
実績・成果			
定期的な公演を実施することにより町民にじっくりと鑑賞していただける。又出演する場を確保することにより後継者の育成にまでつながる。			
目標指標等		指標結果	
入場者数			
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	こども芸術文化育成事業		
事業費(千円)	2,000	事業NO	
事業目的		事業概要	
次世代を担う子どもたちの文化力の向上を図ると共に、楽しく夢のある町づくりを推進する		町内在住の少年・少女が参加できる芸術文化団体が無いので、合唱団の団員の育成を図る。町内全域の幼児(5歳)から児童まで広く公募し少年少女合唱団の団員を募集し、白鷹町文化ホール「あゆむ」などにおいての発表など、あらゆる機会を捉えて歌声の響くまちづくりを図る。	
実績・成果			
47名の申込があり年々増加している。1つの目標に向かって子ども達が日ごろの練習に励んでいる。多くの舞台をふむことにより子ども達が生き生きしてくる。規律正しい子どもの育成。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	少年少女という名称であるが少年がない。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調査

事業名	文化財保護調査事業		
事業費(千円)	266	事業NO	
事業目的		事業概要	
1.文化財の計画的な調査と保護 管資料の整理を図る ほこりである文化遺産を守り、次世代に伝える		2.保 3.地区民の 文化財の保護、管理、調査の実施と指定文化財(国県・町)の保護活用及び管理事業の実施	
実績・成果			
地区民と一体となり文化財の保護を図る。古典桜において、管理者が継続的に関わっているところは樹勢においても良好であるが1年ごとに変わったりする所においては取り返しのつかない状態になってる所なども見られるので、尚一層の支援が必要である。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	粥餅田湿原保全		
事業費(千円)	27	事業NO	
事業目的		事業概要	
天然記念物の保全		平成57年度に町指定天然記念とされ、その保全の必要があったが、年1回の通路の葦刈のみのため、指定当時(葦の増加によりより湿地がなくなる)とは様変わりしている現状である。粥餅田湿原保全計画を作成し、計画に基づいてエリア内の動植物の保護を行う。ボランティアにより葦がりをを行い、絶滅危惧種植物の保護に努めると共	
実績・成果			
ボランティアによる絶滅危惧種の動植物の保存と関心を高める。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	実際にやってみるとかなりきついボランティアである。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	展示交流施設運営事業補助金		
事業費(千円)	2,971	事業NO	
事業目的		事業概要	
収蔵している資料を活用し、ボランティアによる展示物の展示替えを行い、フラワー長井線利用者など多くの観光客に鑑賞してもらう。		荒砥駅に併設している展示交流施設の維持管理を行う	
実績・成果			
年間5回の展示換えを行い入込み数も約10,000人になる			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	開館時から比較すると順調に入込み数が伸びている。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名			
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
実績・成果			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	読書感想文コンクール		
事業費(千円)	229	事業NO	
事業目的		事業概要	
1.未来を担う子ども達が本を通して自己を見つめ将来に向かってどのようにすすんでいつたらいのかを試行錯誤する場の提供 2.読書力の向上		広く町民から感想文を募集し優秀な作品を讃えと共に未来を担う	
実績・成果			
応募状況63点			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	一般の方の応募が少ない		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	お話しの会運営費		
事業費(千円)	92	事業NO	
事業目的		事業概要	
1.読書啓蒙活動の実施		月1回図書館の児童コーナーでこどもの夢と豊かな心を育むため読み聞かせ・語り・伝承あそびなどなどを行いながら本の楽しさを知ってもらい生涯わ通して本を読む週刊の確立を図る。	
実績・成果			
継続した開催である。子どもの本研究会員と荒砥高校生によるボランティアでの実施			
目標指標等		指標結果	
1回10名		合計で129名	
評価	摘要(課題等)		
A	図書館の近くの子どもの参加が少なくなっている。以前はともだちと誘い合って参加していたが、今は家族での参加が多いたちの参加はすくなくなってるが楽しい会になるように心がけております。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	展示交流施設運営事業補助金		
事業費(千円)	2,971	事業NO	
事業目的		事業概要	
収蔵している資料を活用し、ボランティアによる展示物の展示替えを行い、フラワー長井線利用者など多くの観光客に鑑賞してもらう。		荒砥駅に併設している展示交流施設の維持管理を行う	
実績・成果			
年間5回の展示換えを行い入込み数も約10,000人になる			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	開館時から比較すると順調に入込み数が伸びている。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	文化交流センター事業		
事業費(千円)	21,773	事業NO	
事業目的		事業概要	
「文化・交流・人づくり」をテーマに、創造的で多様な芸術文化活動を促進することにより、文化の振興と賑わいの創出、そして地域間交流を推進するため、平成21年10月にオープン。町民に身近な施設として、自主事業の実施、円滑な運営及び施設設備の適切な維持管理を行う。		文化交流センターにおける自主事業として、オープニング事業、ギャラリー事業、ホール事業について、事業企画委員・サポーターともに主体的に事業の企画及び実施を行なってきた。	
実績・成果			
事業費については当初予算の1/2ほどに抑えることができた。これは、国や文化財団等の助成事業を活用したことや、住民企画の事業が予想以上にあったこと、また新型インフルエンザの流行により冬期間のイベントを差し控えたことなどによるものである。また、施設内だけに留まらず、学校や福祉施設に出前事業を行ったり、単なる鑑賞に留まらずワークショップなどの体験型事業も多く取り入れたりして裾野の拡大を図ってきたことにより、新たな文化サークルができるなど、少しずつ効果が表れてきた。			
目標指標等		指標結果	
年間利用者数 32,000人		H21.10オープン後利用者数 17,093人	
評価	摘要(課題等)		
A	全体的な印象として町民への浸透度がまだ足りない。特に川東地区の方々に訪れていただけのような事業の企画が必要。新年度より事業企画を部会ごとに検討することとしたため、よりきめ細かい事業が生まれることを期待。施設全体として夜間・平日日中及び冬期間の利用が課題。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	各種スポーツ大会開催事業		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
町民がスポーツに親しむ機会の提供と競技力向上を図るため各種スポーツ大会を開催する。		各種スポーツ大会の開催 ・白鷹若鮎マラソン大会・町誕生記念駅伝競走大会・町民水泳大会・町民スキー大会・しらたかソフトボールフェスティバル・県ジュニア駅伝競走大会・西置賜地区駅伝競走大会・日本女子ソフトボールリーグ・各種町民スポーツ大会(競技団体主管)	
実績・成果			
各大会の開催は競技スポーツの振興、生涯スポーツの振興において白鷹町のスポーツ推進の大きな柱となっている。スポーツを「する・みる・ささえる」機会を提供し、選手の育成・強化、競技力の向上、更には健康づくり、地域づくりに大きな成果を上げることができた。特に若鮎マラソン、水泳大会、スキー大会は町内小学、中学生が多く参加し、これを目標に練習を重ねている。また、今年度の日本ソフトボールリーグは、初めて主管団体のソフトボール協会が単独で開催しており、協会の組織力向上が図られた。			
目標指標等		指標結果	
2,500		2,590	
評価	摘要(課題等)		
A	大会の効率的運営、スタッフの確保と適正配置		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	総合型地域スポーツクラブ設立推進事業		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
生涯スポーツ社会実現のため、平成22年までに1クラブの設立を目指す。		白鷹町における総合型地域スポーツクラブ創設の基本方針(理念、活動内容、プログラム等)、推進年次計画を定め、日本体育協会の総合型地域スポーツクラブ育成推進事業を活用して、クラブ設立に向けた具体的な活動を展開する。平成21年度は、設立準備委員会を組織し、平成22年2月の設立を目指す。	
実績・成果			
2月14日設立総会を開催し白鷹町総合型地域スポーツクラブゆめスポしらたか「RO*KU」を設立しました。クラブは、体育協会や体育指導委員会を中心に組織され、22年4月から会員を募集し事業を開始します。設立準備委員会では、クラブの理念、規約、事業計画、予算等を検討し、クラブの土台を作りました。また、モデルクラブとしてキッズスポーツクラブの運営と体育指導委員会を中心としたニュースポーツ教室等を開催し、クラブの周知を図りました。			
目標指標等		指標結果	
クラブの設立		設立	
評価	摘要(課題等)		
B	今後クラブの運営に移るが、クラブの組織体制の充実が課題となる。クラブマネージャーの発掘、育成、指導者の確保が必要となります。また、種目の充実により会員の拡大を目指します。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	スポーツ振興基金有効活用検討		
事業費(千円)		事業NO	
事業目的		事業概要	
生涯スポーツ、競技スポーツの振興における重要課題として位置づけ、有効活用策の検討を行う。		スポーツ関係諸団体との協議により、スポーツ振興基金の有効活用について議論しながら、これまでの町スポーツの振興方策を検証し、今後の町スポーツ振興施策と合わせて検討し、具体的な活用方策を計画的に実施していく。 ・検討会議の開催	
実績・成果			
スポーツ振興基金については、平成20年度より毎年元金200万円を取り崩し、基金事業へ支出するとしていたが、今年度12月補正予算により、H20年度分は積み戻し、H21年度分以降は取り崩しを行わないこととした。H21年度事業については、スポーツ振興基金運営委員会の議決のもと各種スポーツ団体の育成、競技力向上対策、健康づくり事業を実施した。			
目標指標等		指標結果	
意見聴取に対する町民参加 50名		体育協会理事会等で聴取	
評価	摘要(課題等)		
B	基金事業については、関係団体との意見調整を行い、町民の生涯スポーツを実施する環境整備や競技力向上のための支援等に有効に活用する必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

教育委員会事業点検評価調書

事業名	調理場フード等改修工事		
事業費(千円)	9,744	事業NO	
事業目的		事業概要	
調理場の機能維持のため、施設の整備を図り、安全・安心のできる学校給食の提供を図る。		フード等改修工事一式	
実績・成果			
保健所からの指摘事項であったが、改修工事の結果、フードに関する衛生面も問題なく、安全・安心の学校給食を提供できるようになった。			
目標指標等		指標結果	
フード等改修工事		安全な給食提供	
評価	摘要(課題等)		
A	昭和57年に建築されて、今年で28年を経過する。建物の劣化は年とともに進んでいるなか、近年、計画に基づき、フード改修工事やボイラーの更新工事及び屋根塗装工事等、調理場の機能維持のための改修工事が行われてきた。今後も調理場の機能維持のため、給排水管の更新や外壁等防水処理、床、内壁、天井等の改修、児童・生徒が使用する食器等の更新が必要と考える。食品衛生法も年々改正になり、厳しい条件が求められているが、計画的な対応が必要と考える。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業名	共同調理場屋根塗装工事		
事業費(千円)	1,402	事業NO	
事業目的		事業概要	
調理場の機能維持のため、施設の整備を図り、安全・安心のできる学校給食の提供を図る。		屋根塗装一式	
実績・成果			
さび等がひどく、塗装するに遅き感があつたが、塗装の結果、劣化を先延ばしすることができた。			
目標指標等		指標結果	
屋根塗装工事		施設の劣化防止	
評価	摘要(課題等)		
A	昭和57年に建築されて、今年で28年を経過する。建物の劣化は年とともに進んでいるなか、近年、計画に基づき、フード改修工事やボイラーの更新工事及び屋根塗装工事等、調理場の機能維持のための改修工事が行われてきた。今後も調理場の機能維持のため、給排水管の更新や外壁等防水処理、床、内壁、天井等の改修、児童・生徒が使用する食器等の更新が必要と考える。食品衛生法も年々改正になり、厳しい条件が求められているが、計画的な対応が必要と考える。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必